

地域活性化のための地域密着型駅ナカ空間の提案

H04212 贄田 百合
指導教員 岩倉 成志



1. 背景・目的

近年、衰退傾向にある商店街が数多く存在する。その原因として大規模商業施設の進出や後継者問題等が拍車をかけている他に、都心部の大規模なターミナル駅においては駅ナカとよばれる駅構内の商業施設の発展も挙げられる。事実、駅ナカは集客性が高く周辺地域に与えるマイナスの影響が大きいことが論文等で示されている。

そこで駅ナカを有効活用し、駅ナカに集まった人々を地域に回遊させ、地域活性化に繋げていけたら良いのではないかと考える。本研究では具体的にどのような駅ナカ空間が回遊性を誘発し、地域活性化に有効であるかを見出す。さらにそれを日本橋室町地区へ具体的に提案し、地域商店の賛否を問うことを目的とする。

2. 対象地域の現状と問題点

2-1. 対象地域の概要

本研究の対象地域を、東京メトロ三越前駅と日本橋室町に存在する老舗商店街通りである、むろまち小路を対象とする。三越前駅は東京メトロの銀座線と半蔵門線、また連絡通路を介して JR 総武快速線（新日本橋駅）にも繋がり、平均乗降人員は 148,600 人/日（新日本橋駅含む）の駅である。むろまち小路は東京都中央区日本橋室町 1 丁目と本町 1 丁目に跨る老舗商店街通りで、現在むろまち小路には 32 件の老舗が軒を連ねる。

2-2. 対象地域の現状

現在、「日本橋地区都市再生事業」として三越前駅の地下通路拡幅工事が行われている。本工事は中央通り下、全長 330m 区間の拡幅工事であり、現在までにその内の一部が供用されている。

また、日本橋室町地区において三井不動産株式会社が主体となり 2013 年を目途に再開発ビルの建設を行っている。それに伴いビルの地下 1 階部分が連絡通路と一体的に整備されることが決定されている。

2-3. 対象地域の問題点

三越前駅における現状の人の流れを知るために、三越前駅の各出口において利用者数調査を行った。結果、むろまち小路の最寄り出口では 1 分間あたり平均 3~4 人なのに対し、三越への最寄り出口では 1 分間あたり平均 20~45 人程度の利用があり、三越への接続出口の利用者が非常に多くむろまち小路の商店を目的に来る人が少ないことがわかった。また、むろまち小路においては路上駐車が多く歩行者の通行を妨げること、土日祝日定休や平日の営業時間が短いなど利用者の利便性に欠けることが問題点として挙げられる。

3. 提案内容

和気¹⁾によると、「駅ナカの開業により駅周辺の軽食関係、物品関係の店は客足が減少し、商店街を利用しなくなった要因として駅ナカの便利さを感じたことが要因」との検証結果がある。駅ナカの利便性の高さや集客力の高さ、同時に、周辺地域へ与える影響が大きいという問題点を窺い知ることが出来る。

そこで三越前駅において駅ナカを導入し、駅ナカに集まった人々を周辺地域へと導けるような、地域に密着した新たな駅ナカ空間を改札付近・地下通路・再開発に伴う拡幅部分・むろまち小路の 4 箇所について既存の論文や再開発地の視察などから効果的な具体例を抽出し、提案を行う。詳細を図 1~図 2 に示す。

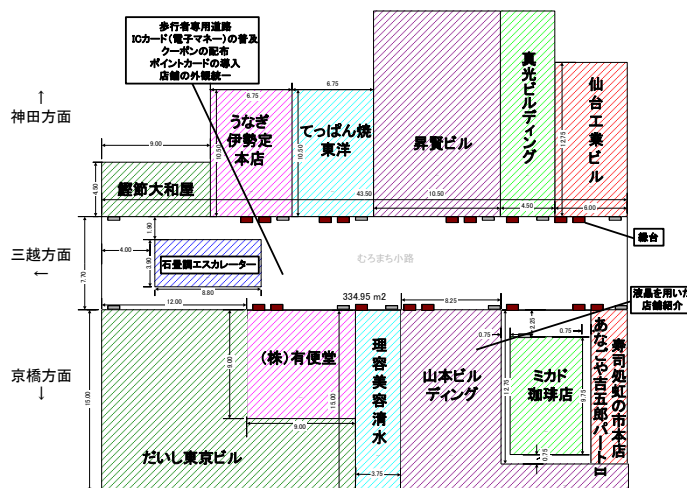


図 1. むろまち小路の提案図面

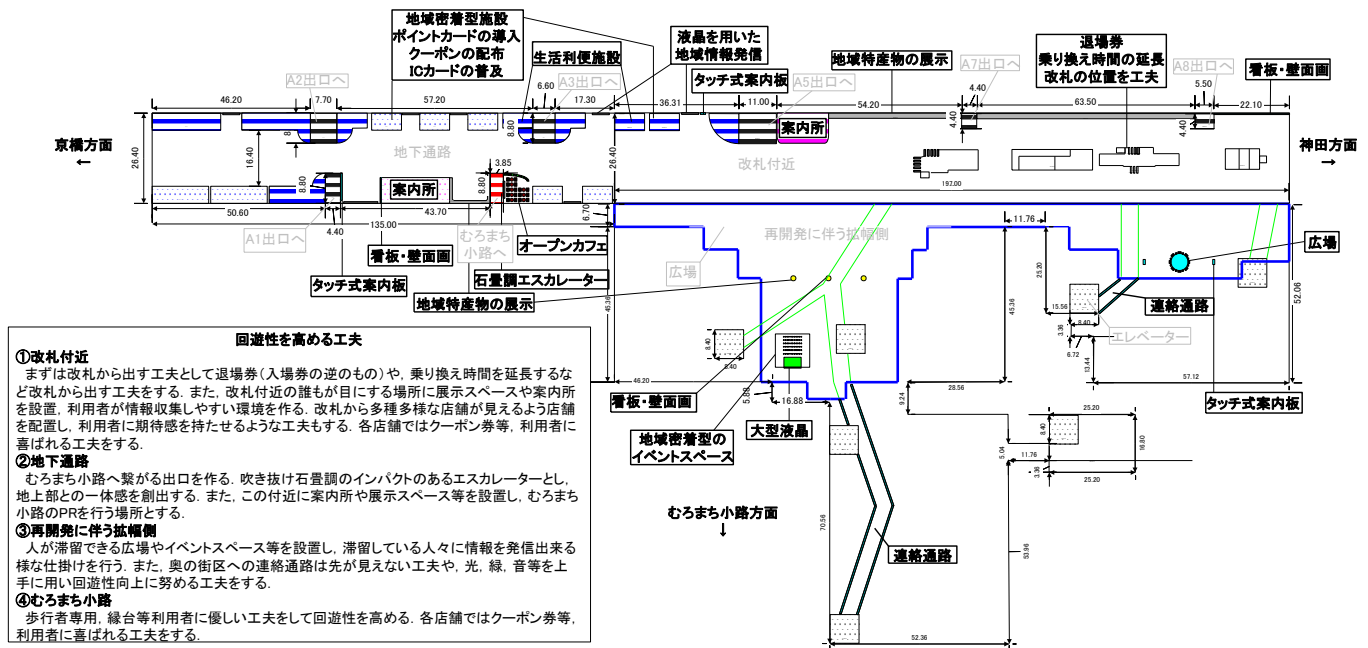


図 2. 三越前駅地下部分の提案図面

表 1. 提案に対する問題点等（下線は賛成の意見）

具体例	提案箇所					
	改札付近		地下通路		むろまち小路	
	賛成率	問題点等	賛成率	問題点等	賛成率	問題点等
地域特産物の展示	75.0%	粗雑、選定難しい、田舎感あり	75.0%	選定難、田舎感あり、芸術展示が良い	—	—
案内所	88.9%	設置費用等、 <u>人件費負担者は誰か</u>	77.8%	費用、改札付近にあれば不要	—	—
地域密着型施設	50.0%	本店と重複、経費、混雑、可能性少、費用	50.0%	重複、経費、混雑、余裕、select shop	—	—
生活利便施設	55.6%	粗雑、経費、混雑、ニーズ少ない	55.6%	雑多、惣菜店等不要、ニーズ少、経費	—	—
液晶を用いた地域情報発信	88.9%	ターミナル駅の様で雰囲気壊れる	88.9%	雑多になるので文化的な展示等が良い	—	—
ポイントカードの導入	75.0%	運営、費用、人手、特徴崩れる	75.0%	運営、費用、人手、特徴崩れる	71.4%	運営、費用、人手、特徴崩れる
クーポンの配布	66.7%	各店の特徴崩れる、各店で配布が良い	66.7%	各店の特徴崩れる、各店で配布が良い	71.4%	各店舗の特徴が崩れる
ICカード（電子マネー）の普及	62.5%	費用、採算、店の特徴崩れる、 <u>全店導入</u>	62.5%	費用、採算、各店の特徴崩れる	83.3%	各店舗の特徴が崩れる
退場券	62.5%	非現実的、乗換え時間延長で不必要	—	—	—	—
乗り換え時間の延長	75.0%	非現実的、他駅への乗換え可能性が良い	—	—	—	—
改札の位置を工夫	100.0%	特になし	—	—	—	—
石畳調エスカレーター	—	—	66.7%	道狭い、非現実的、出す所、メリット大	71.4%	道狭い、非現実的、搬出入問題なければ
オープンカフェ	—	—	77.8%	狭い、近隣喫茶店圧迫、広ければ良い	—	—
看板・壁面画	88.9%	数多い、不公平生じる、他で良い、 <u>正面</u>	88.9%	数多い、不公平生じる、他の案で良い	—	—
タッチ式案内板	87.5%	誰が運営するのか	87.5%	誰が運営するのか	—	—
大型液晶	—	—	—	—	—	—
地域密着型のイベントスペース	—	—	—	—	—	—
広場	—	—	—	—	—	—
連絡通路	—	—	—	—	—	—
縁台	—	—	—	—	100.0%	<u>質感やルールを作り街中統一して設置</u>
歩行者専用道路	—	—	—	—	100.0%	特になし
液晶を用いた店舗紹介	—	—	—	—	71.4%	むろまち小路の雰囲気には合わない
店舗の外観統一	—	—	—	—	85.7%	老舗の良さ無くなる、 <u>一体感出す</u> 、費用

4. 調査結果とその考察

4-1. 調査結果

実際に周辺地域の人々は提案をどのように考えるかを把握するため、日本橋室町・本町商店街理事会において30分程度の説明会と後日回収のアンケート調査を行い、9名の方から回答を頂くことが出来た。なお、提案に対する回答を表1に示す。また、再開発に伴う拡幅側については実際に再開発を行っている三井不動産株式会社の方に、提案内容と類似の案を考えているとの回答を頂いた為、本研究では再開発に伴う拡幅側のアンケート調査は実施しなかった。

4-2. 考察

建設費用や調達方法など費用に関すること、歴史や老舗ならではの雰囲気が損なわれターミナル駅になることを懸念したこと、退場券や乗り換え時間の延長、石畳調エスカレーターと歩行者専用道路等は現実性に欠けるために問題視する意見が多く挙げられた。

5. まとめ

本研究において、日本橋室町地区へ地域密着型の駅ナカ空間を提案し、地域住民の話から賛否の声を得ることができた。今後得られた意見を踏まえて検討を進め、より現実性のある提案を行いたい。

【参考文献】

- 1) 和氣悠治：「駅ナカ」が駅前商店街に及ぼす影響の実態分析(2007)
http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/PUBTRPLAN/zirei/06_waki.pdf